

宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

ひらかわ あらた
平川 新

未来への航路

オズカとミアト

瑞巖寺を見学して松島を宿泊したビスカイノ一行は、12月18日から海路を進みます。あちこちに立ち寄りながら良き港を探していく

ますが、これはと思う場所には日本語地名が書かれています。ところがこれがどこのことか、じつにわかりにくいのです。

たとえば松島を出発した船は、オズカ(Ozca)に向かって船泊したとあります。これ

到達もしていない地名を書くこと自体が不自然です。そこには島があり、そこには大塚浜が

「豊かな川の海への注市」のことだとする新見解も出てきました。近年、この

ミアトは宮戸(東松島

あり、200丁の船が停泊できる港があったと記されています。松

島を出て島が点在する入り江のある場所といえは松島湾北東部です

が、そこには大塚という浜がありました。先

のオズカに近い発音ですが、これはどう

す。

その次に出てくる地名はミアト(Miat)で、これは石巻の湊(村)だと考えられています。近年、このミアトは宮戸(東松島

市)のことで、この場所は、

②3 ビスカイノ探検記の地名はどこのことか

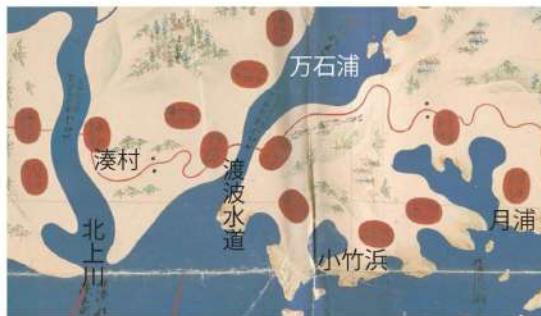
地名はどこのことか

ギロード(河口部)などはあります。そんな川になります。そんな川があるリータ港と名づけました。マルガリータはスペインでよく使われる女性の名前です。このあともビスカイノは、めぼしい入江にスペイン語の地名をどんどん付けています。それだけであれば、なんとかロマンチックな感じで改めて紹介しましょう。

そこから1レグア(約4キロ)のところには、小竹と同じくらいの良港があり、海岸に風を遮らず水深が深い、千トン以上の船が停泊できる良港を見つけています。そこがの村がありました。この村がいました。これには月浦(ツキノウラ)という地名が当てられました。月浦(ツキノウラ)という地名が当たったから、かなり正確な位置測定をしていま

す。当時の西洋の観測技術の高さがわかります。実際は38度24でしたから、かなり正確な位置測定をしていま

る浜なのです。ここに港という名が与えられました。

正保の国絵図(1645年)
石巻・月浦部分石巻絵図(1830年頃)
東北大学図書館蔵正保の国絵図(1645年)松島湾部分
(国立公文書館デジタルアーカイブ)

コンダケとチキムラ
ビスカイノの記録を注意して読むと、ミアト(湊)を出てから水深が浅い湾に注ぐ川を見つかったとあります。その次に出てくる地名はコンダケ(Condaque)ですか

、牡鹿半島の小竹の川と牡鹿半島の間にあることだと思われます。ひらかわ・あらた

昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。

本邦の国絵図(1645年)松島湾部分
(国立公文書館デジタルアーカイブ)

コンダケとチキムラ
ビスカイノの記録を注意して読むと、ミアト(湊)を出てから水深が浅い湾に注ぐ川を見つかったとあります。その次に出てくる地名はコンダケ(Condaque)ですか

、牡鹿半島の小竹の川と牡鹿半島の間にあることだと思われます。ひらかわ・あらた

昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。



本邦の国絵図(1645年)松島湾部分
(国立公文書館デジタルアーカイブ)

コンダケとチキムラ
ビスカイノの記録を注意して読むと、ミアト(湊)を出てから水深が浅い湾に注ぐ川を見つかったとあります。その次に出てくる地名はコンダケ(Condaque)ですか

、牡鹿半島の小竹の川と牡鹿半島の間にあることだと思われます。ひらかわ・あらた

昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。

本邦の国絵図(1645年)松島湾部分
(国立公文書館デジタルアーカイブ)